

人々の安全を科学する

—触れ、試し、学際的に学ぶ—

2024年

10月26日(土)

13:30~17:10

会場 関西大学高槻ミュージズキャンパス

対象 高校在学学生

(既に卒業された方で、大学進学を希望する方も可)

スケジュール
・テーマ

定員 60名(申込多数の場合、抽選)

参加費 無料

13:30~13:50(20分)
学部紹介

13:50~14:50(60分)

講義 **感じる、考える**(安全と心理学)

社会安全学部 教授 中村 隆宏

人は社会的な生き物であり、人の「心理」に対する関心や興味は尽きません。一方で、過去のさまざまな事故や災害にも、人の「心理」は関係しています。この講義では、身近な例を交えつつ「心理学」と事故・災害・安全の関係について解説するとともに、社会安全を実現するための方法について考えます。

15:00~16:00(60分)

演習 **見て、話す**(耐震工学)

社会安全学部 教授 一井 康二

災害での犠牲者を減らすためには、いろいろなことが必要です。例えば、私たちが普段の生活で使っている建物が地震の時に簡単に壊れないこと。このために、新しい建物では耐震設計をきちんと行うことが必要です。古い建物では耐震診断により危ないところの有無を確認しなければなりません。どうすれば、地震に弱い建物を減らすことができるか考えてみましょう。

16:10~17:10(60分)

実験 **触れ、試す**(安全工学)

社会安全学部 教授 細川 茂雄

薄い金属板で作られた容器内を減圧すると、大気圧との差で大きな力がかかり、容易に圧壊します。初期の蒸気機関はこの力を用いていました。もし逆に容器内が許容値範囲を超えて高圧になれば、破裂して大きな災害を引き起こすことになります。本実験では実際にアルミ缶の圧壊を体験し、材料や構造物の強さについて、一緒に考えてみたいと思います。

関西大学社会安全学部は、安全・安心というレンズを通して、私たちが生きる社会や人間、自然を洞察し、そこにある問題を解決することで、自然災害・社会災害の最小化をめざしています。

本セミナーでは、私たちの生活の安全を守ってくれている身近な仕組みを、講義・演習・実験という異なるスタイルで学んでいきます。

10月18日まで
延長!

申込締切

10月10日(木)

アクセス

〒569-1098
大阪府高槻市白梅町7-1

- ▶ JR京東線「高槻」駅から
徒歩約7分
- ▶ 阪急京都線「高槻市」駅から
徒歩約10分



申込方法・注意点

- 本セミナーは高槻ミュージズキャンパスで実施します。千里山、高槻、堺キャンパスとは実施キャンパスが異なりますのでご注意ください。
 - 昨年度と同様の内容で実施予定です。
 - 参加希望の方は、右記QRまたは関西大学高大連携センターHPの「セミナーのイベント情報」内にある本セミナー申込みフォームに必要事項を入力の上、送信してください。
 - 申込締切後、申込者全員に受講可否を通知します。実施日の3日前までに通知が届かない場合は、高大連携センターまでお問い合わせください。
 - 自然災害等の事情により、当日やむを得ず中止または延期となる場合があります。
 - 申込み時に入力いただいた個人情報は、本セミナーに関するこのみに使用します。
- ※スケジュールおよびプログラムは変更する場合があります。



関西大学

お問い合わせ先

社会連携部 高大連携センター

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

TEL:06-6368-1184 FAX:06-6368-0858

HP: <https://www.kansai-u.ac.jp/koudai/>

